

配水池耐震補強工事

(既設コンクリート目荒し・補修)

特 記 仕 様 書

平成 2 9 年度

1. 既設コンクリート目荒し

掘削により既設コンクリート躯体を露出させた後、洗浄及びコンクリート増し厚部との一体化をはかるために目荒しを行うものとする。

既設コンクリートの目荒しは、高圧洗浄(100Mpa)により行うものとする。既設コンクリート目荒しによる表面の除去厚さは脆弱層を取り除き健全なコンクリート表面を露出させるまで行うものとする。

2. 既設コンクリート補修

高圧洗浄後の既設コンクリート躯体を、目視調査によりコンクリートの表面の状態確認を行うものとする。次に、ひび割れ状況を確認し、補修箇所について監督員と協議の上決定する。

ひび割れ補修は、ひび割れ 0.2mm を超える場合にUカットシーリング工法により施工する。また、配水池天端の通気筒部においても、ひび割れ補修を行うものとする。